授業前(スライド:01-No.1)

授業開始前か、開始時に、事前に準備しておいた、チーム分けスライドを投影し、チーム毎に、前に詰めて着座するよう促しましょう。

オープニング(スライド:01-No.2～3)

遅刻には厳しくする講座ですが、最初の授業ですので、遅刻者救済のための時間を取ります。アイスブレイクを兼ね、講師が自らの自己紹介と学生用Notebookを全員が手元に置いているかどうかの確認から始めます。

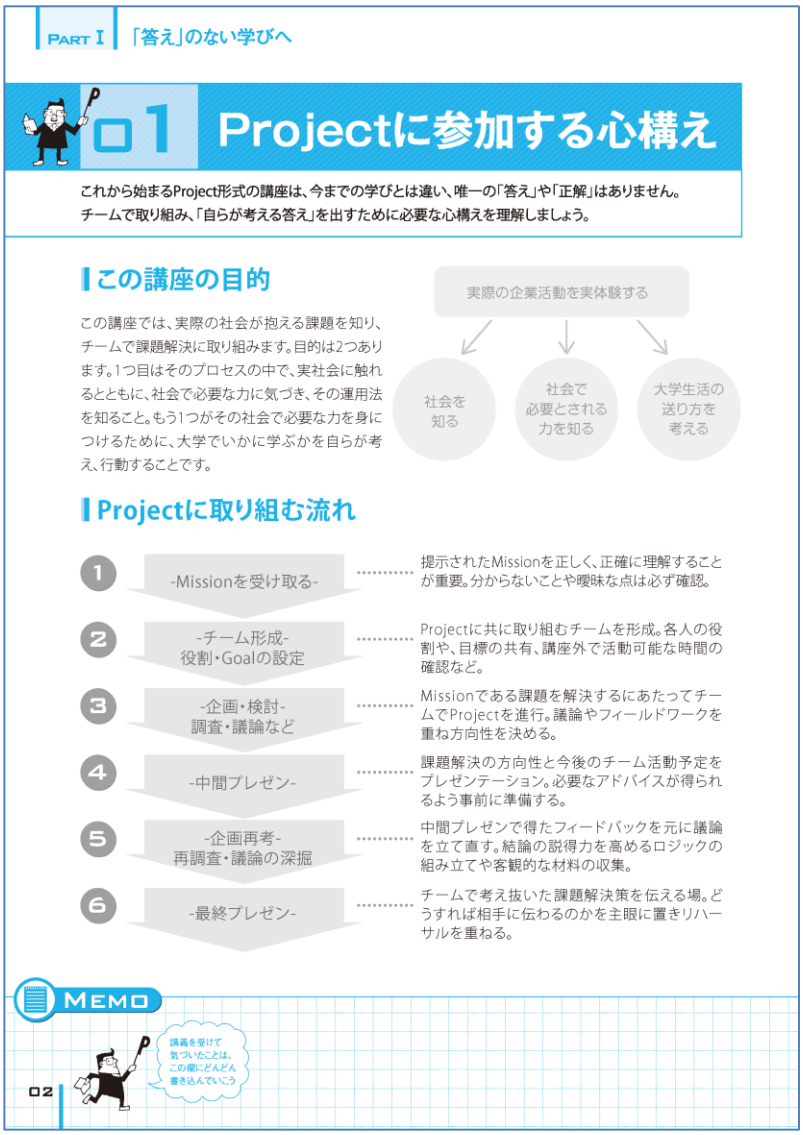
この講座の目的(スライド:01-No.4)

実際の企業活動を追体験することで、以下の3つの項目を知ることを目的にしていることを説明します。

・社会を知る
・社会で必要とされる力を知る
・大学生活の送り方を考える

Projectに取り組む流れ(スライド:01-No.5)

シラバスを参照し14コマの流れ解説。
下記2点に注目して説明しましょう。
・前半・後半で2企業の課題に取り組む
・1事例に取り組む大体の流れ



PART Ⅰ 「答え」のない学びへ

01 Projectに参加する心構え

これから始まるProject形式の講座は、今までの学びとは違い、唯一の「答え」や「正解」はありません。
チームで取り組み、「自らが考える答え」を出すために必要な心構えを理解しましょう。

この講座の目的

この講座では、実際の社会が抱える課題を知り、チームで課題解決に取り組みます。目的は2つあります。1つ目はそのプロセスの中で、実社会に触れるとともに、社会で必要な力に気づき、その運用法を知ること。もう1つがその社会で必要な力を身につけるために、大学でいかに学ぶかを自らが考え、行動することです。

実際の企業活動を実体験する
社会を知る
社会で必要とされる力を知る
大学生活の送り方を考える

Projectに取り組む流れ

1 -Missionを受け取る- …… 提示されたMissionを正しく、正確に理解することが重要。分からないことや曖昧な点は必ず確認。
2 -チーム形成- 役割・Goalの設定 …… Projectに共に取り組むチームを形成。各人の役割や、目標の共有、講座外で活動可能な時間の確認など。
3 -企画・検討- 調査・議論など …… Missionである課題を解決するにあたってチームでProjectを進行。議論やフィールドワークを重ね方向性を決める。
4 -中間プレゼン- …… 課題解決の方向性と今後のチーム活動予定をプレゼンテーション。必要なアドバイスが得られるよう事前に準備する。
5 -企画再考- 再調査・議論の深掘 …… 中間プレゼンで得たフィードバックを元に議論を立て直す。結論の説得力を高めるロジックの組み立てや客観的な材料の収集。
6 -最終プレゼン- …… チームで考え抜いた課題解決策を伝える場。どうすれば相手に伝わるのかを主眼に置きリハーサルを重ねる。

MEMO
講義を受けて気づいたことは、この欄にどんどん書き込んでいこう
02

スライドで展開される授業を受けるポイント!!

高校時代、板書になれてきた学生は、PowerPointなどで作成したスライドを使用する授業では戸惑うことがあります。
講師の話を聞きながら、自分が大切だと思ったことを、メモしていく習慣をはじめに言及する必要があります。学生用Notebookでは、講義ページに、罫線のメモ欄を用意しています。
そのメモ欄に、どんどんメモを取ることを、このタイミングで意識づけましょう。

Confidential & Proprietary ©2014 Benesse Corporation all rights reserved

社会で働くために必要な力とは？(スライド:01-No.6)

この講座では、社会で必要とされる２つの力を発揮し、社会で必要とされるレベルにまで引き上げることを目指します。
①考える力
②周囲とコミュニケ―ションする力

この講座の参加方針と評価方法(スライド:01-No.7)

授業の参加方針と評価方法を説明。
遅刻・欠席はチームメンバーに必ず連絡し、チームメンバーから講師に報告をさせましょう。また、欠席者へのフォローはチームで責任を持つこともここで言及し徹底しましょう。

もしも、大学独自に他の評価方法があったり、最終日にレポートを課すなどの予定があれば、この段階で言及しましょう。

～目安：20分経過～

自己紹介(スライド:01-No.8)

ここで、前半のMissionに取り組むメンバーと顔合わせをします。
1人1分前後で下記3点をコメント。
①学部学科
②氏名
③この講座を履修した理由
　(必修の場合はこの講座への期待)

～目安：30分経過～

PROJECT SUPPORT NOTEBOOK

社会で働くために必要な力とは？

社会では、多くの人々との協力関係の中で仕事を進めて行きます。個人で完結する仕事はほとんどなく、社会の様々な立場の人とチームを組んだり、パートナー関係を構築しながら成果を出すことが要求されます。

まずは、チームで成果を出すためには欠かせない、2つの重要な力を理解しましょう。また、この講座での活動を通じて、その重要な力を十分に発揮し、更に社会で必要とされるレベルにまで引き上げていくことを目指します。

❶考える力

チームで課題解決に取り組む際に必要な考える力は、2つに大きく分けることができます。「課題解決に必要な情報は何か？」「その情報をどのように入手するのか？」「入手した情報の確からしさは？」「その情報からどんなことが読み取れるのか？」等、情報を正しく収集・分析する力。また、収集・分析した情報を様々な角度から考察し、自らの経験や専門性、価値観などを統合し、自分なりの意見を生み出す力です。

・効果的に情報を収集・分析する力
・自分なりの意見を生み出す力

❷周囲とコミュニケ―ションをする力

頭で考えているだけでは、チームで成果を出すことはできません。また、自分の考えに固執していても、議論は前に進みません。周囲とコミュニケーションを円滑に進めるためには、チーム活動の様々なシーンで、下記の３つの力が必要です。

・他人に自分の意見を伝える力
・他人の意見を引き出して理解する力
・チームでの結束を高めていく力

この講座の参加方針と評価方法

参加方針：講座への出席とチームへの参画に責任を持つ
- 講座時間の大半はチームワーク
- 講座外でのフィールドワークやディスカッションも必要
- 自分の行動に責任を持ってチーム貢献する

評価方法：出欠、チームへの貢献、プレゼン内容、レポートなど
※具体的には、講座担当教員に必ず確認しましょう

03

Confidential & Proprietary ©2014 Benesse Corporation all rights reserved